



■巻頭言

附属図書館長 市村 孝雄

図書館のホームページが一新されました。この館報第6号は、その特集号です。

大学コミュニティの中で、あるいは、大学と巨大な情報サイトとの間で、さまざまにやり取りされる情報がますます肥大化する中で、せめて学術情報へのアクセスルートだけは大学図書館へ、あるいは、図書館のホームページへいけばわかるようにしてほしい、そんな切実な利用者ニーズに応えたリニューアルです。

複雑多岐にわたる情報源の所在をきちんと整理して、訪ねる者に分りやすく使い勝手のよいページ作りをめざして、図書館スタッフと情報化推進室員が知恵を絞った労作です。並んだサイトの“サーフィン”をおおいにエンジョイしてください。

“資料検索”からは、学内蔵書のOPAC、NiiのWebcat、国会図書館、県内図書館、Google Scholar、“情報検索”からは、GeNii、医学中央雑誌、PubMed、電子資料館にアクセスできます。図書館利用案内、情報検索の手引き、他大学図書館情報も掲載しています。

学術情報の検索にはなかなか高度なテクニックがあるようです。図書館専門職員(司書)が賢い情報検索のノウハウを指導する出前講習も開いていますので、クラスごとゼミごとのご希望があれば遠慮なくご相談ください。お待ちしております。

この秋10月からは、Health Science分野のElsevier社電子ジャーナル全タイトルを無料でテスト利用できるようになりました。電子化の進む分野では、冊子体に代わる電子ジャーナルの顧客獲得に出版社間の価格競争が烈しくなってきたため、大学図書館にとって無料トライアルは絶好の品定めチャンスになります。そこで、今回の利用実績をしっかりと記録して統計をとり、電子版導入のニーズとメリットをチェックします。また、複数の出版社のジャーナルから必要なもののみ選択してパッケージで契約する方法もありますので、その道もひきつづき検討していきます。

次号からは、利用者の“寄稿欄”が再開します。ご期待ください。

■シラバス掲載の指定図書が図書館に備えられます

附属図書館の図書蔵書冊数は現在およそ18万6千冊ですが、教育と研究のニーズを追うかのように毎年5千冊前後の割合で増加しています。この年間受入冊数のおよそ7割が教員による購入で、3割が図書館で購入しているものです。

昨年、学内の利用者を対象にニーズ調査を実施したところ、「もっといろいろなジャンルの図書をそろえて欲しい」との声が少なくありませんでしたが、今年度は新しい学部体制に見合った、需要の高いシラバスにあげられた指定図書を充実させたいと思います。指定図書の充実は以前からの懸案事項でしたが、予算的に購入が難しく、実現できなかったところです。大学図書館として最優先の課題ですので、図書館購入分の中で、指定図書の整備をすることにしました。

年度内には、非常勤講師の担当科目も含めて、シラバスにあげられた図書が、品切・絶版を除いて揃うはずですが、特に学生の皆さんにはどんどん活用していただきたいと願っています。

今後とも附属図書館は、利用者のニーズと利用の実態に基づいて選択的、効果的な蔵書の充実を図っていく考えです。

(辻村)

■ (Menu 特集) リニューアルされた附属図書館のホームページです

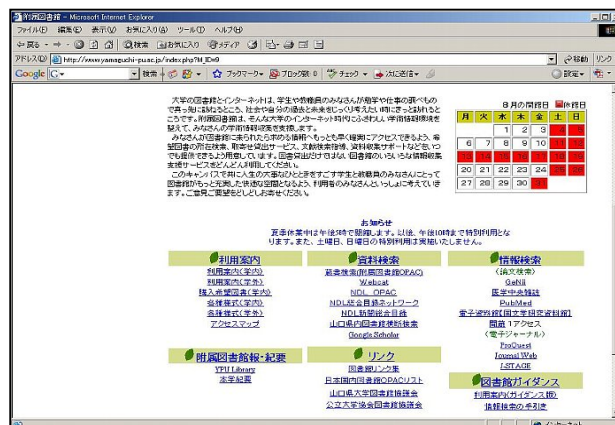
～ 画面で確認しながら、本文を読まれると、より一層理解が深まります。

7月末、附属図書館のホームページをリニューアルしました。

昨年の学内アンケート調査でも、前号の寄稿でも、使いやすいホームページに改善することが求められていました。職員で、図書館のホームページとして必要なカテゴリーを検討、情報化推進室の協力も得て、要望にも沿うよう、6つのメニューの中にそれぞれのコンテンツを用意しました。

この記事では、それぞれのメニューに納められたコンテンツやリンクについて解説しています。

より良いページを目指していますので、ご意見等がありましたら、図書館までお寄せください。



利用案内

このメニューには、学内向けの図書館「利用案内」と学外利用者への「利用案内」を載せています。また、学内向けの「学外文献複写申込書」、「他館への(図書)借用申込書」、「他館紹介状」の様式を用意しました。

学外利用者向けには「特別閲覧許可願」の様式を用意しています。

その他、「購入希望図書」リクエストについての説明、「アクセスマップ」からキャンパス案内へのリンクがあります。

資料検索

最も良く使ってほしい、資料所在検索のメニューです。各機関へのリンクを集めています。

附属図書館所蔵の資料を探す時には「OPAC」で検索してください。資料の配置場所、貸出の可否、雑誌では所蔵巻号の確認などができます。

国立情報学研究所が公開している「Webcat」では、全国の大学図書館等で所蔵している資料の所在確認ができます。附属図書館が所蔵していない資料を探す時に便利です。

国立国会図書館所蔵の資料を検索するには「NDL OPAC」を利用します。雑誌記事索引の検索も同じ画面に用意されています。

「NDL 総合目録ネットワーク」は国立国会図書館と都道府県立図書館の一部、政令指定都市立図書館の一部が所蔵する和図書を検索することができます。

「NDL 新聞総合目録」では国会図書館及び全国約 1,300 機関の新聞の所蔵が検索できます。

「山口県内図書館横断検索」では県内の公共図書館 19 館と大学図書館 11 館の所蔵図書を検索することができます。近隣の図書館であれば、所蔵の確認後出向いて利用することもできます。また、図書館によっては、当館に図書を取り寄せて利用することもできますので、カウンターでお尋ねください。

「Google Scholar」はサーチエンジン等で有名な Google 社が提供しているネット上の学術資料検索サイトです。分野や発行元を問わず、出版社、学会、プレプリント管理機関、大学などの学術専門誌、論文、書籍、要約、記事を検索でき、本文を閲覧できるものもあります。

検索に対しては、最も関連性の高い情報がページの上部に表示されます。学術資料のプレサーチとして網羅的に資料を検索する場合に役に立つと思います。

情報検索

情報検索のメニューは「論文検索」のためのサイトと「電子ジャーナル」のサイト、二つに分けてあります。

論文検索のサイト「GeNii」は国立情報学研究所が公開している学術コンテンツポータルで主要な 4 つのデータベースと電子ジャーナル、図書情報など 8 つのサイトが用意された学術情報への入口です。中でも「CiNii」は以前の館報でも紹介しましたが、国立国会図書館雑誌記事索引データベースなど、17,000 誌・1,000 万論文の膨大な情報を検索対象とするデータベースです。レポート作成、卒業論文の参考文献検索などに役立ててください。紀要に掲載された論文等は検索から本文閲覧まで可能なものが多く収録されています。

検索結果に当館の所蔵を検索するための OPAC リンクボタンが表示されるものもありますので、所蔵確認に便利です。

「医学中央雑誌」は国内で発行されている医学・歯学・薬学およびその関連領域から収集されたのべ約 4,700 の資料から採択されています。採択分野は生理学・生化学などの基礎分野から臨床医学の各分野、さらには獣医学・看護学・社会医学など広範囲におよんでいます。年間収録文献数は 30 万件を超えています。検索された論文に当館の所蔵確認ボタン、CiNii へのリンクボタンなどが用意され、格段に使い勝手が良くなっています。

一方「PubMed」は世界約 80 カ国、5,000 誌以上の文献を検索することができるデータベースを米国医学図書館が無料公開しているものです。1,500 万件以上の文献データが収録されています。検索結果から本文を閲覧できるものもあります。

「電子資料館」は国文学研究資料館のサイトにあり、主として資料館所蔵の図書・雑誌の目録、国文学論文、古典籍、近代文献情報などのデータベース、吾妻鏡など日本古典文学本文データベース、歴史人物画像データベースなど歴史関連の画像データベースなどがあります。

「聞蔵」は朝日新聞の記事データベースで、AERA、週刊朝日の記事も合わせて検索ができます。地域版の記事も検索できますので便利です。1985 年から当日の朝刊の記事まで網羅しています。「知恵蔵」の最新版現代用語約 3 万語の検索も可能です。ただし、1 アクセスの契約ですのでそれ以上のアクセスはできません。ご注意ください。

次に電子ジャーナルのサイトについて紹介します。

「ProQuest」は 1985 年以降現在までに発行された外国雑誌の論文を検索し本文を閲覧することができます。「New York Times」などアメリカの新聞記事を検索し、閲覧することもできます。この電子ジャーナルサイトは主として人文・社会科学系の雑誌が多く収録されています。日本語のインターフェースとクイックガイドが用意されており、検索した原文を日本語に機械翻訳することもできるようになっています。

「Journal Web」は、現在本学で継続購入している洋雑誌のうち、オンラインで購読できるものを紀伊国屋書店が提供するポータルサイトから閲覧できます。図書館に来館することなく学内から同時に多くの利用者が閲覧できるメリットがあります。本号 4 ページで詳しく紹介していますのでご覧ください。

「J-STAGE」は独立行政法人科学技術振興機構が提供する科学技術情報発信・流通総合システムで、国内学会等のジャーナル、予稿集・要旨集、報告書など 575 誌が収録されており、論文のキーワード検索から、本文をフリーで閲覧できるものも多くあります。また、和文の電子ジャーナルプラットフォームとして、数少ないものの一つです。

内容としては医学・工学・生物学系の電子ジャーナルが多く収録されています。

附属図書館報・紀要

ここでは、本誌「YPU Library」の pdf ファイル版を創刊号から最新号まで収録し、公開しています。バックナンバーの確認も容易です。

本学の発行する「紀要」については、現在「学術情報」として、電子化の準備作業を行っています。終わり次第 pdf ファイルで公開する予定です。

リンク

リンクには、国内の図書館リストを日本図書館協会などにリンクして公開しています。また、県内の大学図書館協議会、公立大学協会図書館協議会へのリンクで、加盟大学図書館の情報を確認することができます。

情報検索のためのリンク集は「図書館ガイダンス」のメニューに用意していますので、そちらをご利用ください。

図書館ガイダンス

「利用案内（ガイダンス版）」は新入生オリエンテーションで配付・説明しているものです。

「情報検索の手引き」には「情報検索のためのリンク集」が付属しています。事・辞典やデータベース、電子ジャーナルなどへのリンクを用意していますので、ご利用ください。

「情報検索の手引き」は冊子でも用意しています。附属図書館ではこれを使い、平成 15 年から、研究室単位や学科単位で、詳しい文献検索等のガイダンスを実施しています。昨年度は新入生オリエンテーションを含めて計 16 回実施し、546 人の受講がありました。

ガイダンス実施のご希望がありましたら、附属図書館までお申し出ください。日時を確認のうえ、お応えいたします。

(町田)

■ Journal Web をのぞいてみよう！

Journal Web は、冊子体で購入中の雑誌がオンラインでも閲覧できるサービスを持つ出版社を集めたポータルサイトです。

<Journal Web への入り方>

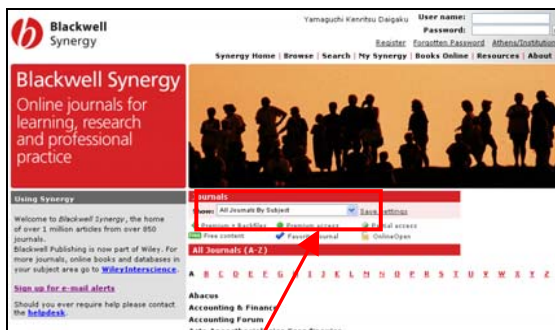
1)情報検索→電子ジャーナル→Journal Web と入っていくと下の画面になりますので、タイトルの「ALL」をクリックします。



2)検索結果の中からいくつか説明しましょう。



① Blackwell Synergy



ここから **Subscribed Journals** を選択すると、本学で利用できる雑誌(全文閲覧が可能な巻号あり)が閲覧できます。

② Cambridge Journals Online

本学で利用できる雑誌(全文閲覧が可能な巻号あり)が閲覧できます。



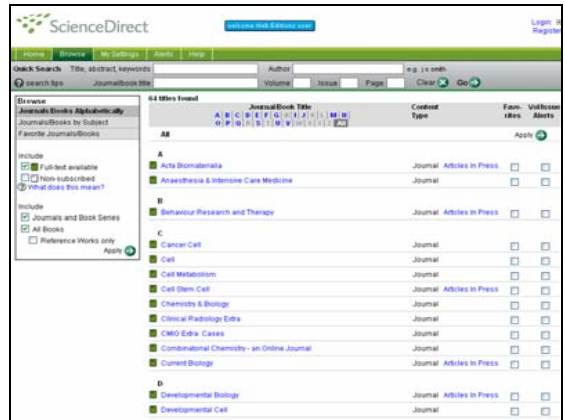
③ J. of Bacteriology

The J. of Biological Chemistry

この2誌は、2007年より冊子体から電子版へ変更しています。(最新号から全文閲覧可能)

④ Science Direct web edition

(来年3月31日までのサービスです)



本学で利用できる雑誌が閲覧できますが、全文閲覧可能な巻号は、原則として最新号よりさかのぼって1年前迄です。(Cell等、雑誌により例外あり)また、10月より Science Direct の Health Science 分野の雑誌を無料で閲覧できるトライアルを実施する予定です。

* * *

Journal Web 内の出版社によっては、これらのサービスは変動することもありますのでご了承ください。(窪田)

◆ 編集後記・・・本号は、リニューアルされた当館ホームページ関連記事を中心にお伝えしました。次号は1月に発行します。(町田)

■ 編集・発行/山口県立大学附属図書館

〒753-8502 山口市桜島 3-2-1

TEL. (083) 928-0522 FAX. (083) 928-0279

E-mail. lib@sakura3.yamaguchi-pu.ac.jp